

2023年(令和5年)度 事業報告書

2023年度の事業を以下の通り実施しました。

評議員会・理事会

定時評議員会

3月12日(日) 午後1時～ ホテル日航

議長に立住雅志評議員を選出し ①2022年度事業報告。②2022年度業務報告。③2022年度収支決算報告。④2022年度監査報告。⑤2023・2024年度理事候補。⑥2023・2024年度監事重任。⑦評議員補充。⑧組織変更。の8議案を承認可決。

報告事項は賛助会制度。

理事会

第1回 2月26日(日) 午後1時～ 連盟本部会議室

①2022年度事業報告。②2022年度収支決算報告。③2022年度監査報告。④2022年度業務報告(惣田会長・工藤副会長・堀内副会長)。⑤2023年度新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン改定。⑥第53回日本少年野球春季全国大会。⑦賛助会制度。⑧第41回世界少年野球大会。⑨定款施行細則の改定など。⑩各部・各委員会の役割。⑪三重県支部・支部長交代。⑫理事・理事待遇候補選出、評議員欠員補充。⑬未来へ!活性化プロジェクト。⑭指導者ライセンス制度導入。⑮福岡県南支部・福津ボーイズ移籍。⑯八幡南ボーイズのトラブル。⑰2023年度定時評議員会議案。⑱2023年度定時理事会議案。の18議案を承認可決。

報告事項は、審査指導部・懲戒案件報告。浜寺ボーイズ元代表、監督からの「地位確認及び妨害排除仮処分申立事件。大正製薬の協賛復活。助成金申請。大田スタジアム・連盟広告掲示。全国審判委員会。新規加盟チーム、チーム名変更。2022年度一斉ボランティア活動。2022年度地区大会参加報告。

第2回(定例)3月12日(日) 午後2時20分～ ホテル日航

①理事役職。②2023年度新ガイドライン。③第53回日本少年野球春季全国大会。④2023年度第40世界少年野球大会。⑤2023年度各大会の選手選抜(登録)。の5議案を承認可決。

報告事項は、新規加盟申請。第95回選抜高校野球大会出場の連盟OB選手一覧。

稟議書回付

1、5月1日付稟議

① 旅費規程の改定に関する件。の1議案を承認する19名で可決。施行日は5月10日。

第3回 8月1日(火) 午後1時～ 連盟本部会議室

① 2023年度上半期決算。② 第53回日本少年野球春季全国大会決算。③第54回日本少年野球選手権大会。④2023世界少年野球大会。⑤ 第23回鶴岡一人記念大会。⑥第17回ジャイアンツカップ。⑦JUNIOR ALL JAPAN。⑧第9回全国女子中学生硬式野球選手権大会。

⑨エイジェックカップ・グランドチャンピオンシリーズ。⑩U-12、U-15。⑪賛助会。⑫ライセンス制度策定委員会。⑬2023年度上半期業務報告。以上、13議案を承認可決。

報告事項は、浜寺ボーイズ指導者・仮処分申請却下。2023年度上半期新規加盟チーム。2023年度上半期新規参入指定業者。

第4回（定例）12月10日（日）午後1時 ホテル日航大阪

①第54回日本少年野球選手権大会。②第23回鶴岡一人記念大会。③2023年世界少年野球大会。④JUNIOR ALL JAPAN。⑤2024年度予算案。⑥2024年度事業計画案。⑦規約・規定の改定。⑧第54回日本少年野球春季全国大会。⑨賛助会。⑩指導者ライセンス委員会。⑪東北支部・兵庫県支部分割案。⑫支部長交代・新任支部長。⑬理事待遇追加申請。

以上、13議案を承認可決。

その他報告事項は、2023年度下半期新規加盟チーム。2023年度下半期新規加盟指定業者。南海国際旅行社。役員賠償責任保険。

全国ブロック長会

原則として毎月開催

連盟本部の事業計画、予算案の審議、国際親善大会の選手選考。また各ブロック、支部の声を広く反映すると共に、直面するあらゆる問題点を審議検討し、理事会に具申する。

2023年度は、2月19日（日）、3月25日（日）、4月30日（日）、6月8日（木）、7月1日（土）、8月17日（木・臨時）、9月2日（土）、10月8日（日）、11月19日（日）、12月6日（水）の計10回開催された。

賛助会制度

公益財団法人になったのを契機に、選手（保護者）の費用負担軽減の一助となるよう「賛助会制度」を発足させ、ボーイズOB、および関係者のご協力で、選手の健全育成を目指す。

本部主催講習会関係

1. ライセンス制度策定委員会

連盟登録指導者の質の向上と統一を図り、安全かつ適切な指導環境を確保することを目的とし、指導者ライセンス制度を導入するための策定委員会を4回開催した。

- ① 委員会（場所：連盟本部会議室 参加者：各ブロック選出委員）
 - 第1回：1月21日（土）
 - 第2回：4月16日（日）
 - 第3回：6月18日（日）
 - 第4回：10月21日（土）

② プレスリリース

日 時：11月10日(金)連盟本部会議室

場 所：連盟本部会議室

内 容：「指導者ライセンス制度」導入を発表。報道機関5社、記者10名が参加。

子どもたちの育成にあたる、指導者の暴力、暴言を撲滅するため、指導者の質と統一を図り、安全かつ適切な指導環境を確保する制度。他リーグに先がけてボーイズリーグが初導入。

受講者には指導者ライセンスが交付され、2025年度からは、ライセンス所持が指導者のベンチ入りに不可欠となる。

③ 指導者ライセンス資格取得講習会

◇東日本ブロック

日 時：7月17日(月・祝)

場 所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 神保町 受講者 150名。

◇関西ブロック

日 時：9月24日(日)

場 所：堺産業振興センター 受講者 509名。

内 容 日本スポーツマンシップ協会代表理事長 中村 聡宏氏の講演。

「スポーツマンシップについて～考える力を育む指導のあり方～」

スポーツマンに求められる3つのキモチ「尊重」「勇気」「覚悟」をわかりやすく講演。

2. 全国審判講習会

日 時：2月11(土)、12日(日)

場 所：大阪シティ信用金庫スタジアム(舞洲球場)

内 容：・「基本の完全理解と徹底」研修会。

・2023年1級ライセンスの更新検定及び2023年1級ライセンス検定試験。

・公認野球規則の改定等の周知。

各ブロックより28名と役員・指導員12名が参加。

3. ブロック審判講習会

内 容：各ブロックで日程、場所などを設定し開催された。全国審判講習会に参加した審判員と、ブロックのBL-1級指導審判員等ベテラン審判員が協力し、BL-1級審判員のライセンス取得と、支部審判員らの技術の向上、ボーイズの特別規則ルールの周知を図った。

3. ブロック指導者講習会

日本中学硬式野球協議会・(公財)日本野球連盟主催の指導者講習会

ボーイズ、シニア、ヤング各3リーグ指導者のレベルアップをはかるのが目的。

受講した指導者には、日本中学硬式野球協議会による修了書を配布。

① 関西地区中学野球指導者講習会

日 時：1月29日(日)

場 所：堺市産業振興センター

内 容：東洋大姫路高校 野球部監督 岡田龍生氏が自らの経験をもとに講演。

岡田監督の指導者論について、子供とのコミュニケーションと指導力が大事で、保護者、子供、監督の三位一体の取り組みなど、参加者たちは非常に参考になり、今後に生かしていくと話していた。また「中学生期における障害と対応」のビデオも上映された。 合計160名が受講した。

② 中四国ブロック指導者講習会

日 時：2月19日(日)

場 所：岡山県和気郡 和気ドーム

内 容：テーマ スポーツマンシップにおける審判員とは何か、選手のために基本通りの審判・十分な知識で、Good Gameを目指す審判になる。

目 的：①選手のための講習会に必要なことを実践する。②基本通りの審判・知識とは何かを
実践する。③審判育成に必要な経験をする機会にする。

27名が受講した。

③ 東日本ブロック指導者講習会

日 時：1月18日(水)、2月1日(水)、2月15日(水)

場 所：ZOOM、YouTubeを活用したオンライン講習会

内 容：メインテーマ「変える意識と勇気を持とう Go for it !」

1月18日(水)

1. 活性化PR「チーム運営と情報の共有」
2. 講演 「コンタクトレンズとメルスプラン」
3. 対談 「ケガをしない・させない トレーニングと栄養学」

2月1日(水)

1. 活性化PR「今までと同じでは変わらない」
2. 講演「スポーツビジョンと紫外線の影響について」
3. 講演「野球を通じて人間力を高める。～保護者にも指導者にも聞かせたい～
『人生に勝利する方程式』

2月15日(水)

1. 活性化PR「リーグ戦の活用について」
2. 講演「長時間練習による弊害！ケガ・故障をしない、させない」
3. 講演「オルソケラトロジーについて」

アンケート提出者：1,152名(3日間合計)

総視聴者数：2,013名(3日間合計)

④ 中日本ブロック指導者講習会

日 時：2024年1月～2月 配信開始

場 所：各支部で個別視聴

内 容：2023 年度指導者育成事業（オンライン研修）内容をインターネット配信。視聴後に受講者レポートを提出。参加人数約 600 名が受講予定。

⑤ 九州ブロック指導者講習会

内 容：各支部の自主性に任せて実施した。参加者：約 110 名。

本部主催全国大会

1. スターゼンカップ第 53 回日本少年野球春季全国大会

抽 選 会：3 月 5 日（日）リモート形式

日 時：3 月 26 日（日）～31 日（金）

場 所：大田スタジアム他

開 会 式：雨のため、大田スタジアムのスタンドで行われた。主に主将のみで行進。初日に予定していた試合は翌日にスライド。

内 容：小学生の部 16 チーム、中学生の部 43 チームの合計 59 チームが 43 支部の代表として出場。春のボーイズリーグ日本一を争った。大会の様子は、今年も開・閉会式も含め、全ての試合は「YouTube」で動画配信された。また特別協賛のスターゼン社より、大会 MVP 賞を含めた副賞が贈られた。

中学生の部は東海中央ボーイズが、紀州ボーイズを 6-0 で破り、春夏通じて初の全国制覇を果たした。小学生の部は東広島ボーイズが、流山ボーイズを 9-2 の 4 回コールドで破り、初の日本一になった。

結 果：小学生の部

優 勝 東広島ボーイズ (広島県・山陰支部)

準優勝 流山ボーイズ (千葉県・東京都東支部)

グッドマナー賞：優 賞 稲沢中央ボーイズ (愛知県中央・西支部)

良 賞 茨木ナニワボーイズ (大阪北支部)

中学生の部

優 勝 東海中央ボーイズ (愛知県中央支部)

準優勝 紀州ボーイズ (和歌山県支部)

グッドマナー賞：優 賞 大津瀬田ボーイズ (滋賀県支部)

良 賞 大分明野ボーイズ (大分県支部)

ボーイズリーガー賞

小学生の部 増本 龍人君 (東広島ボーイズ)

中学生の部 小野 舜友君 (東海中央ボーイズ)

スターゼン社長賞

小学生の部 勝呂ボーイズ (埼玉県西支部)

中学生の部 大分明野ボーイズ (大分県支部)

スターゼン MVP 賞

小学生の部 迫平 成史君 (東広島ボーイズ)

2. エイジェックカップ 第54回日本少年野球選手権大会

抽選会：7月16日(日)大阪・読売テレビ内ホール。アスリートチャンネルでもライブ配信。
日時：8月2日(水)～7日(月)
場所：大阪シティ信用金庫スタジアム(舞洲球場) 他
開会式：小学生の部16チームと、台風の影響で参加を見合わせた八重瀬ボーイズ(沖縄県支部)以外の中学生の部47チームが参加して行われた。
内容：小学生の部16チーム(東日本ブロック推薦1チーム含)、中学生の部48チーム(九州ブロック推薦1チーム含)の合計64チームが43支部の代表として、ボーイズリーグ夏のNo.1をめざして熱戦を繰り広げた。小学生の部は、東京世田谷ボーイズが広島安佐ボーイズを16-7の4回コールドで破り、大会史上初の3連覇を達成した。中学生の部は11年ぶりに関西勢同志の決勝となり、明石ボーイズが大阪柴島ボーイズを5-0の完封で破り初優勝し夏の王者となった。今大会も開・閉会式および全ての試合が「YouTube」で動画配信された。小・中の決勝戦は、アスリートチャンネルでもライブ配信され大きな反響を得た。

結果：小学生の部

優勝 東京世田谷ボーイズ (東京都西・神奈川県支部)

準優勝 広島安佐ボーイズ (広島県・山陰支部)

グッドマナー賞：優賞 香芝ボーイズ (奈良県支部)

良賞 今治中央ボーイズ (愛媛県支部)

中学生の部

優勝 明石ボーイズ (兵庫県支部)

準優勝 大阪柴島ボーイズ (大阪北支部)

グッドマナー賞：優賞 守口ボーイズ (大阪北支部)

良賞 笛吹ボーイズ (山梨県支部)

ボーイズリーガー賞

小学生の部 喜多 頼士君 (東京世田谷ボーイズ)

中学生の部 川上 慧君 (湘南ボーイズ)

3. 日本生命カップ 第23回ボーイズリーグ鶴岡一人記念大会

日時：8月18日(金)、19日(土)

場所：広島県呉市・鶴岡一人記念球場他

特別協賛：ミズノ株式会社、大之木建設株式会社、株式会社エイジェック、大正製薬株式会社

内容：全国5ブロックで選抜した小・中の各6チーム(主催ブロック2チーム出場)と女子の部5チームの17チームが、ブロックの榮譽をかけて戦った。中学生の部、中学生女子の部は、関西選抜が連覇し2冠を達成した。小学生の部は、中日本選抜が、5年ぶりに優勝した。

結 果：小学生の部

優 勝 中日本選抜

準優勝 広島県選抜

中学生の部

優 勝 関西選抜

準優勝 東日本選抜

女子の部

優 勝 関西女子選抜

準優勝 九州女子選抜

表彰選手

最優秀選手賞 坂口 仙太郎君 (関西選抜)

優秀選手賞

小学生の部 森 脩朔君 (中日本選抜)

田村 季龍君 (広島県選抜)

中学生の部 山田 祐大君 (関西選抜)

畠山 明祈君 (東日本選抜)

女子の部 川瀬 ゆず葉さん (関西選抜)

松村 瞳子さん (九州女子選抜)

本部主催大会（ブロック主管大会）

1. 第26回日本少年野球関東ボーイズリーグ大会

日 時：前期 4月9日（日）16日（日）23日（日）29日（土祝）

後期 5月3日（水祝）4日（木祝）

場 所：本庄市ケイアイスタジアムほか

内 容：中学生の部 180 チーム、小学生の部 16 チームが参加して、4年ぶりに開会式も行われた。恒例のベースボールランニング大会も復活した。

中学生の部は、埼玉県西支部同志の決勝となり、狭山西武ボーイズが、武蔵嵐山ボーイズを5-2で破り初優勝。小学生の部では、埼玉新座ボーイズが、流山ボーイズを10-5で破り初優勝となった。

結 果：小学生の部

優 勝 埼玉新座ボーイズ (埼玉県東支部)

準優勝 流山ボーイズ (千葉県支部)

中学生の部

優 勝 狭山西武ボーイズ (埼玉県西支部)

準優勝 武蔵嵐山ボーイズ (埼玉県西支部)

2. 第 19 回日本少年野球九州選抜大会

日 時：7月15日(土)、16日(日) (中学生の部)

6月24日(土)、25日(日) (小学生の部)

場 所：ONNA赤間ボールパーク他 (中学生の部)

山鹿市カルチャースポーツセンター他 (小学生の部)

内 容：九州ブロック9支部から予選を勝ち抜いた、中学生の部16チームが激闘を繰り広げた。決勝は大分明野ボーイズが、宮崎ボーイズを9-1の5回コールドで破り、大会史上初の連覇を達成した。

小学生の部は、九州ブロック内3支部に所属する全6チームが参加。西九州支部同士の対決となり、黄城ボーイズが諫早ボーイズを13-6の5回コールドで破り、初優勝とともに、選手権大会の出場も決めた。

結 果：中学生の部

優 勝 大分明野ボーイズ (大分県支部)

準優勝 宮崎ボーイズ (宮崎県支部)

小学生の部

優 勝 黄城ボーイズ (西九州支部)

準優勝 諫早ボーイズ (西九州支部)

3. 読売杯第 38 回日本少年野球中日本大会

日 時：4月29日(土・祝)、30日(日)、5月3日(水・祝)、4日(木・祝)

場 所：三重県 霞ヶ浦第一野球場他

内 容：中日本ブロックの各支部予選を突破した中学生の部32チーム、小学生の部13チームが参加し、熱戦を繰り広げた。中学生の部は春季全国大会を制した東海中央ボーイズが、岐阜南ボーイズを破り初の大会制覇。小学生の部は三河一宮ボーイズが、小坂井・岡崎中央合同ボーイズを5回コールドで破り、36年ぶり2回目の優勝。

結 果：中学生の部

優 勝 東海中央ボーイズ (愛知県中央支部)

準優勝 岐阜南ボーイズ (岐阜県支部)

最優秀選手賞 山田 凜虎君 (東海中央ボーイズ)

優秀選手賞 柳生 望来君 (岐阜南ボーイズ)

小学生の部

優 勝 三河一宮ボーイズ (愛知県東支部)

準優勝 小坂井・岡崎中央合同ボーイズ (愛知県東支部)

4. 報知旗争奪第 15 回関西さわやか大会

日 時：5月20日(土)～6月25日(日)

場 所：京セラドーム大阪、大阪シティ信用金庫スタジアム他

内 容：関西ブロック 9 支部の中学 1 年生王者を決める大会。126 チーム（関西女子選抜 A・B は 2、3 年生主体）が参加して、新型コロナウイルスが 5 類に移行し、4 年ぶりに行われた開会式で元気に入場行進を行った。

大阪北支部同士の決勝戦は、大阪柴島ボーイズの打線が爆発し、西淀ボーイズを 10 対 3 で 5 回コールド勝ち。参加 126 チームの頂点に立った。

結 果：優 勝 大阪柴島ボーイズ （大阪北支部）
準優勝 西淀ボーイズ （大阪北支部）

5. 第 30 回日本少年野球中四国春季大会

日 時：5 月 13 日（土）、14 日（日）

場 所：松山坊っちゃんスタジアム他

内 容：中学生の部は、4 支部から各 4 チームの計 16 チームが出場。今治中央ボーイズが、高松ボーイズを 5 回コールドの 7-0 で破り初優勝。小学生の部は、愛媛県支部 2 チームと広島県支部 2 チームの計 4 チームが出場し、今治中央ボーイズが、松山ボーイズの 4-3 で接戦を制し、昨年の春秋に続く中四国春季大会 3 連覇となった。

結 果：小学生の部

優 勝 今治中央ボーイズ （愛媛県支部）
準優勝 松山ボーイズ （愛媛県支部）

中学生の部

優 勝 今治中央ボーイズ （愛媛県支部）
準優勝 高松ボーイズ （愛媛県支部）

6. 第 48 回日本少年野球関東大会

日 時：8 月 11 日（金）～14 日（月）

場 所：埼玉・本庄市ケイアイスタジアム他

内 容：東日本ブロックの 13 支部の予選を勝ち上がり、支部が推薦した小学生の部 8 チーム、中学生の部 16 チームが出場。

中学生の部は鮮やかな逆転劇で松戸中央ボーイズが、上越ボーイズを破り初めての夏の関東王者のタイトルを獲得した。

小学生の部は埼玉県支部同志の決勝となり、2 日連続の鮮やかな逆転勝ちで、勝呂ボーイズが大会初優勝。

結 果：小学生の部

優 賞 勝呂ボーイズ （埼玉県西支部）
準優勝 坂戸中央ボーイズ （埼玉県西支部）

中学生の部

優 賞 松戸中央ボーイズ （千葉県支部）
準優勝 上越ボーイズ （長野県支部）

表彰選手：最優秀選手賞	秋元 陽翔君	(松戸中央ボーイズ)
	高橋 大雅君	(勝呂ボーイズ)
優秀選手賞	木村 友紀君	(上越ボーイズ)
	安食 武琉金	(坂戸中央ボーイズ)

7. 第2回日本少年野球北海道大会

日 時：8月10日(木)～12日(土)
 場 所：札幌市円山球場、札幌市麻生球場
 内 容：東日本ブロック13支部の予選を勝ち上がり、支部が推薦した北海道支部4チーム、埼玉県東支部、埼玉県西支部、千葉県支部、東京都東支部から各1チームの合計8チームが出場。トーナメント形式で行われた。猛打の京葉ボーイズが優勝した。

結 果：優 勝 京葉ボーイズ (千葉県支部)
 準優勝 東京江戸川ボーイズ (東京都東支部)
 最優秀選手賞：露崎 勝己君 (京葉ボーイズ)
 優秀選手賞：立石 陽崇君 (京葉ボーイズ)
 " : 農作 力君 (東京江戸川ボーイズ)

8. 第2回日本少年野球東北選抜大会

日 時：8月11日(木)～14日(日)
 場 所：いわきグリーンスタジアムほか
 内 容：東日本ブロック13支部の予選を勝ち上がり、支部が推薦した中学生16チームが出場。トーナメント形式で行われた。長野ボーイズが逆転勝ちで初優勝。

結 果：優 勝 長野ボーイズ (長野県支部)
 準優勝 小山ボーイズ (栃木県支部)
 最優秀選手賞 関 健志朗君 (長野ボーイズ)
 敢闘賞 静井 暖人君 ((小山ボーイズ)

9. 中日スポーツ杯第18回中日本秋季大会

小学生の部

日 時：10月21日(土)～29日(日)
 場 所：輪之内アポロスタジアム他
 内 容：小学生の部12チームが出場。東海・春日井合同ボーイズが延長7回、劇的なサヨナラ2ランで初優勝。

結 果：優 勝 東海ボーイズ・春日井ボーイズ合同 (愛知県中央・西支部)
 準優勝 稲沢中央ボーイズ (愛知県西支部)

中学生の部

日 時：10月21日(日)～29日(日)
 場 所：輪之内アポロスタジアム他

内 容：中学生の部 32 チームが出場し、愛知豊橋ボーイズが、決勝で愛知尾州ボーイズを破り、2年ぶり2度目の優勝を飾った。

結 果：優 勝 愛知豊橋ボーイズ (愛知県東支部)
準優勝 愛知尾州ボーイズ (愛知県西支部)
最優秀選手賞 福井 那留君 (愛知豊橋ボーイズ)
優秀選手賞 中村 泰知君 (愛知豊橋ボーイズ)
小林 大雅君 (愛知尾州ボーイズ)
長崎 匠真君 (愛知尾州ボーイズ)

10. 第 35 回日本少年野球東日本選抜大会

日 時：10月7日(土)、8日(日)、9日(月・祝)、11月25日(土)

場 所：関谷公園野球場、上毛新聞敷島球場 他

内 容：東日本ブロック 13 支部の予選を勝ち上がり、支部が推薦した小学生の部 8 チーム、中学生の部 32 チームが出場。

小学生の部は、県央宇都宮ボーイズが、2連覇していた東京世田谷ボーイズを下して初優勝。中学生の部は埼玉対決となり、武蔵嵐山ボーイズが、春日部ボーイズを下し6年ぶり2度目の優勝を飾り、東日本ブロック秋の王者に輝いた。

結 果：小学生の部
優 勝 県央宇都宮ボーイズ (栃木県支部)
準優勝 東京世田谷ボーイ (東京都西支部)
中学生の部
優 勝 武蔵嵐山ボーイズ (埼玉県西支部)
準優勝 春日部ボーイズ (埼玉県東支部)

11. 第 53 回ゼット杯日本少年野球関西秋季大会

日 時：10月14日(土)～10月29日(日)

場 所：淡路佐野第一球場・花園セントラルスタジアム他

特別協賛：ゼット株式会社

内 容：小学生の部 19 チーム、関西ブロック 9 支部の予選を勝ち抜いた中学生の部 24 チームによる関西No.1を決める大会。

中学生の部は、夏の選手権大会覇者・明石ボーイズが大阪交野ボーイズに逆転勝ちで初優勝。小学生の部は、堺中央ボーイズが劇的なサヨナラ勝ちで香芝ボーイズに勝利し、3年ぶり2度目の優勝。中学生の部ベスト4の(明石ボーイズ、大阪交野ボーイズ、兵庫西宮ボーイズ、忠岡ボーイズ)は甲子園球場で行われるシニア、ヤングの3リーグで争う「第19回タイガースカップ」に出場。また小学部ベスト4(堺中央ボーイズ、香芝ボーイズ、滋賀大津ボーイズ、大阪都島ボーイズ)は、「オリックス・バファローズCUP争奪第10回関西小学生硬式野球選手権大会」に出場。

結 果：小学生の部

優 勝 堺中央ボーイズ (大阪阪南支部)
準優勝 香芝ボーイズ (奈良県支部)
中学生の部
優 勝 明石ボーイズ (兵庫県支部)
準優勝 大阪交野ボーイズ (大阪北支部)

12. 第 13 回日本少年野球中四国秋季大会

日 時：10月22日(日)、28日(土)
場 所：鳥取県・どらドラパーク米子球場他
内 容：各支部で予選を行い、小学生の部4チーム、中学生の部16チームが中四国秋季No.1をかけて戦った。

中学生の部は、広島廿日市ボーイズが八頭ボーイズに4-1で勝利し、中四国ブロックの頂点に立った。小学生の部は、広島安佐ボーイズが広島廿日市ボーイズを5回コールドで破り初優勝。

結 果：小学生の部

優 勝：広島安佐ボーイズ (広島県支部)
準優勝：広島廿日市ボーイズ (広島県支部)

中学生の部

優 勝：広島廿日市ボーイズ (広島県支部)
準優勝：八頭ボーイズ (山陰支部)

13. 第 39 回日本少年野球九州大会

小学生の部

日 時：10月15日(土)、21日(日)
場 所：佐賀・ムツゴロウ公園グラウンド他
内 容：小学生の部5チームが参加して開かれた。
昨年に続き西九州支部同士の決勝となり、黄城ボーイズが、諫早ボーイズを8-2で破り2年連続2度目の優勝を飾った。

結 果：優 勝：黄城ボーイズ (西九州支部)
準優勝：諫早ボーイズ (西九州支部)

中学生の部

日 時：11月3日(祝・金)、4日(土)
場 所：福岡県田川市民球場他
内 容：中学生の部は九州ブロック全9支部の予選を勝ち抜いた16チームが戦い、飯塚ボーイズが大分明野ボーイズを9-5で破り、13年ぶり3度目の優勝。
結 果：優 勝：飯塚ボーイズ (福岡県北支部)
準優勝：大分明野ボーイズ (大分県支部)
グッドマナー賞 湯布院ボーイズ (大分県支部)

海外交流試合関係

1. 2023 世界少年野球大会

日 時：8月10日（火）～13日（金）

場 所：日本・愛知県豊橋市 豊橋市民球場ほか

内 容：新型コロナウイルス感染拡大により、中止・延期が続いて4年ぶりに開催された。大会には、日本4、アメリカ4、韓国、中国、メキシコ、シンガポールの6か国12チームが参加した。4戦全勝で決勝トーナメントに進出した中日本選抜は、準決勝で東日本選抜、決勝で西日本選抜を破り、前回の国内開催（愛知県・豊橋市）だった2015年に続く世界制覇となった。

結 果：優 勝：中日本選抜

準優勝：西日本選抜

表彰選手

ベストプレーヤー賞	荻田 翔惺君	（中日本選抜）
	鈴木 悠悟君	（西日本選抜）
エクセレントプレーヤー賞	京谷 琉生君	（中日本選抜）
	玉榮 久豊君	（西日本選抜）
	佐藤 麻恩君	（東日本選抜）
	ターナー・フジノ	（USAハワイ）

2. 2023 JUNIOR ALL JAPAN アメリカ遠征

日 時：8月21日（月）～28日（月）

場 所：アメリカ・カリフォルニア州ロサンゼルス

内 容：野茂英雄氏が総監督を務める「JUNIOR ALL JAPAN」は、4年ぶり12回目の米国ロサンゼルス遠征を行った。ボーイズリーグから12名、ヤングリーグから3名の15名が選出され、8月4日に大阪市内で結団式、翌5日は大阪シティ信用金庫スタジアムで全体練習を実施。現地ではMLB「パドレス-マーリンズ」の試合を観戦。本場メジャーリーガーたちの迫力あるプレーを目の当たりにし、貴重な体験をした。USAチームとの対戦では通算4試合3勝1敗の好成績だった。

他リーグとの交流大会

◆第17回全日本中学野球選手権大会 ジャイアンツカップ

日 時：8月16日（水）～21日（月）

場 所：東京ドーム、読売ジャイアンツ球場他

主 催：（公財）日本野球連盟、読売新聞社、読売巨人軍、日本テレビ放送網、報知新聞社

内 容：中学硬式野球主要 5 リーグでの全国 25 地区に分け行われる地区予選から勝ち上がった 32 チームが出場し、中学硬式野球の日本一を決定する大会。ボーイズリーグから 13 チームが出場。

結 果：優 勝 世田谷西リトルシニア
準優勝 静岡裾野リトルシニア

◆第 1 回エイジェックカップ 中学硬式野球グランドチャンピオンシリーズ

日 時：8 月 29 日(火)、30 日(水)

場 所：甲子園球場他

内 容：ボーイズ、リトル、ヤング、ポニー、フレッシュの 5 団体の選手権覇者が終結して No.1 を決める第 1 回大会。

結 果：ポニー佐賀ビクトリー

ブロック別 他リーグ対抗交流戦

1. 第 11 回 D e N A ベイスターズカップ～2023 神奈川県中学硬式野球選手権大会～

日 時：3 月 18 日(土)、19 日(日)、4 月 29 日(祝・土)

場 所：横浜スタジアム

主 催：株式会社横浜 D e N A ベイスターズ

内 容：神奈川県内の中学硬式野球 4 リーグの垣根を超え、加盟約 90 チームの中から神奈川県ナンバーワン決定する大会。ボーイズ 3・リトル 3・ヤング 1・ポニー 1 の 8 チームが参加。湘南ボーイズが 2 年ぶり 4 回目の優勝。

結 果：優 勝 湘南ボーイズ (神奈川県支部)
準優勝 逗子リトルシニア

2. 第 14 回少年硬式野球四国選手権大会

日 時：4 月 22 日(土)、23 日(日)、29 日(祝・土)

場 所：坊っちゃんスタジアム他

主 催：NPO 法人松球会、松山西ライオンズクラブ

内 容：四国内の少年硬式野球リーグ中学生の部、ボーイズ(17) ヤング(12) リトルシニア(12) 41 チームが参加しての交流試合。(兼：ジャイアンツカップ四国地区予選)

結 果：優 勝 宇和島ボーイズ (愛媛県支部)
準優勝 徳島東リトルシニア

3. 2023 和歌山県中学硬式野球選手権大会

日 時：4 月 29 日(土祝)～5 月 7 日(日)

場 所：紀三井寺公園野球場他

主 催：和歌山県中学硬式野球選手権大会実行委員会他

内 容：ボーイズ 10、シニア 6、ヤング 3 の計 19 チームが参加。(兼ジャイアンツカップ和歌

山・奈良代表決定戦)

結 果：優 勝 紀伊由良リトルシニア

4. 第9回全国女子中学生硬式野球選手権大会

日 時：7月29日(土)～8月2日(水)

場 所：中栄信金スタジアム秦野他

主 催：一般社団法人全日本女子野球連盟、秦野市

内 容：各地区予選および規定により選出された19チームによるトーナメント方式で開催され、女子中学野球の日本一を決める大会。ボーイズから東日本、中日本、関西、中四国の4チームが参加。

結 果：優 勝 スルガマリンガールズ
：準優勝 BL中日本女子 (中日本ブロック)

5. 2023 ホークスカップ中学硬式野球大会

日 時：7月28日(金)～8月1日(火)

場 所：福岡PayPayドーム他

主 催：NPO法人ホークスジュニアアカデミー

内 容：九州、沖縄、山口地区の6つの中学硬式野球クラブがリーグの垣根を越えて交流する場として、また同地区におけるクラブNO.1を決める。20チームが参加(ボーイズからは9チームが参加)

結 果：優 勝 佐賀フィールドナイン

6. 第11回中日ドラゴンズカップ2023 中学硬式野球大会

日 時：8月1日(火)、18日(金)、19日(土)、29日(火)

場 所：バンテリンドームナゴヤ他

主 催：中日ドラゴンズ、中日新聞社、中日スポーツ、ナゴヤドーム

内 容：中日本の硬式野球3リーグの交流大会。ボーイズ7・リトル7・ヤング2の16チームが参加。

結 果：優 勝 東海ボーイズ (愛知県中央支部)
準優勝 愛知衣浦リトルシニア

7. CHIBA LOTTE MARINES CUP 2023 千葉県中学硬式野球大会

日 時：7月29日(土)～8月22日(火)

場 所：ZOZOマリンスタジアム他

主 催：千葉ロッテマリーンズ

内 容：千葉県内中学硬式団体に所属する4リーグ(ボーイズ、ヤング、リトルシニア、ポニー)の交流戦に54チームが参加。ボーイズリーグからは16チームが出場。

結 果：優 勝 佐倉リトルシニア
準優勝 京葉ボーイズ (千葉県支部)

8. 第18回オリックス・パファローズCUP2023 少年硬式野球大会

日 時：8月13日(日)～19日(土)
場 所：ほっともっとフィールド神戸、G7スタジアム神戸
主 催：オリックス野球クラブ株式会社
内 容：ボーイズリーグ6、リトルシニアリーグ6、ヤングリーグ6の計18チーム。
結 果：優 勝 兵庫加古川ヤング

9. ライオンズカップ 2023 中学硬式野球選抜大会

日 時：8月予定
場 所：ベルーナドーム
主 催：株式会社西武ライオンズ
結 果：開催中止

10. 2023 FIGHTERS BASEBALL CHAMPIONSHIP U-15

日 時：8月26日(土)、27日(日)
場 所：エスコンフィールド北海道
主 催：(株)北海道日本ハムファイターズ、(株)ファイターズスポーツ&エンターテイメント
内 容：ボーイズリーグ、リトルシニア、ポニーリーグが団体の垣根を越えて北海道47チームのNo.1を決定する大会。
結 果：優 勝 日高リトルシニア

11. 奈良県知事杯第14回中学生硬式野球選手権大会

日 時：8月26日(土)～9月3日(日)
場 所：佐藤薬品スタジアム他
主 催：(公財)日本野球連盟・奈良県野球連盟
内 容：奈良県下の中学生硬式野球(3リーグ26チーム)の交流を図り、技術の向上、健全な心身の育成と中学硬式野球の発展を目的とした大会、ボーイズリーグから12チームが出場した。
結 果：優 勝 橿原磯城リトルシニア

12. 2023年第27回上毛新聞社中学生硬式野球大会

日 時：9月16日(土)、18日(祝・月)、23日(祝・土)
場 所：上毛新聞敷島球場、高崎市南部野球場、富博記念球場他
主 催：(株)上毛新聞社
内 容：3年生最後となる支部の交流大会。32チーム参加。

結 果：優 勝 小山ボーイズ (栃木県支部)
準優勝 高崎中央ボーイズ (群馬県支部)

13. 楽天イーグルスカップ中学硬式野球大会 2023

日 時：11月18日(土)、19日(日)、25日(土)
場 所：楽天モバイルパーク宮城他
主 催：株式会社楽天野球団
内 容：ボーイズ4、シニア9、ポニー2、ヤング1の16チームが参加。
結 果：優 勝 青森山田リトルシニア
準優勝 宮城仙北ボーイズ (東北支部)

13. オリックス・バファローズCUP争奪 第10回関西小学生硬式野球選手権大会

日 時：12月2日(土)、3日(日)
場 所：大阪シティ信用金庫スタジアム、花園セントラルスタジアム他
主 催：ボーイズリーグ、リトルリーグ、ヤングリーグ
内 容：ボーイズ4、リトル4、ヤング4の小学生12チームの交流戦。ボーイズから、
堺中央ボーイズ。香芝ボーイズ、滋賀大津ボーイズ、大阪都島ボーイズが出場。
結 果：優 勝 ヤング兵庫ベリージュニア
準優勝 香芝ボーイズ (奈良県支部)

14. 第19回タイガースカップ～2023中学生硬式野球・関西No.1決定戦～

日 時：11月23日(木・祝)、26日(日)、12月2日(土)
主 催：(公財)日本野球連盟、阪神タイガース、サンケイスポーツ、日刊スポーツ新聞西日本、
報知新聞社、読売テレビ
場 所：阪神甲子園球場他
内 容：ボーイズ4、リトルシニア4、ヤング3、前年度優勝リーグ枠1チームの3リーグ代表
による中学2年生以下12チームによるトーナメント方式。
ボーイズからは明石ボーイズ、大阪交野ボーイズ、兵庫西宮ボーイズ、忠岡ボーイズ
の4チームが出場した。
結 果：優 勝 兵庫夢前ヤング
準優勝 明石ボーイズ (兵庫県支部)

15. 野村謙二郎CUP第15回西日本中学野球大会

日 時：11月25日(土)、26日(日)、12月2日(土)
場 所：MAZDA Zoom-Zoomスタジアム広島他
内 容：ボーイズリーグ11、リトルシニア11、ヤング10、計32チームによる交流戦。
結 果：優 勝 広島廿日市ボーイズ (広島県支部)
準優勝 尾道リトルシニア

16. 兵庫県オープン オリックス・バファローズ杯 第11回兵庫県中学生硬式野球大会

日 時：11月18日（土）、19日（日）、23日（祝・木）
場 所：淡路佐野運動公園野球場他
主 催：兵庫県中学生硬式野球協会、特別後援：オリックス・バファローズ
内 容：ボーイズ11、ヤング11、リトルシニア10の3リーグ32チームによる交流戦
結 果：優 勝 兵庫北摂リトルシニア

17. 第21回NOMO CUP

日 時：12月2日（土）、3日（日）
場 所：兵庫県 但馬ドーム
主 催：特定非営利活動法人 NOMOベースボールクラブ、豊岡市、豊岡市教育委員会他
内 容：ボーイズ、リトル、ヤング各2チーム計6チームの小学生硬式野球の交流戦。
大阪柴島ボーイズと大阪泉州ボーイズが出場した。打線が爆発した大阪泉州ボーイズが2年ぶりの頂点に立った。
結 果：優 勝 大阪泉州ボーイズ （大阪南支部）
準優勝 神戸リトル

18. 岡山県知事杯 2023 岡山県中学硬式野球選手権大会

日 時：11月25日（土）、26日（日）、12月2日（土）
場 所：倉敷スポーツ公園マスカットスタジアム他
主 催：岡山県中学硬式野球連絡協議会、ボーイズリーグ、シニアリーグ、ヤングリーグ
ボーイズ13、シニア4、ヤング9の26チームが出場。
結 果：優 勝 オール岡山ヤング

その他の事業

1. 全国一斉清掃（ボランティア）活動

内 容：2010年に連盟創立40周年記念事業の一環として始まり、今年で13回目を迎えた「全国一斉ボランティア～ボーイズリーグ社会貢献の日」活動は総勢約26,500名が参加して、12月の土・日を中心に全国各地で行われた。選手、指導者、保護者らが力を合わせて、日頃使用している練習グラウンド周辺や、地域の公園、施設、河川敷などの清掃活動を一生懸命行った。

◎ブロック別参加者数

	小学生の部	中学生の部
東日本ブロック	646	7,570
中日本ブロック	417	5,619

関西ブロック	666	5,715
中四国ブロック	414	1,910
九州ブロック	74	3,417
合 計	2,217名	24,231名

○2024年1月29日現在 届け出人数

2. ボーイズリーグニュース制作

内 容：毎月1回発行し、マスコミなどへの無料配布も含めて約22,000部を印刷。各大会の試合結果や各支部の活動ぶりを報道することで連盟全体の連帯感を深める狙いと、連盟のページでは連盟からの重要伝達事項を毎月掲載し「公益財団法人日本少年野球連盟」の組織強化を図ると共にイメージアップ向上にも役立てる。

3. 連盟の手引制作

内 容：定款、定款施行細則、各規約、役員名、支部長名、全チーム紹介などを網羅した「連盟の手引き」4000冊を4月に発行。マスコミはじめ関係者、各支部、チームなどに配布し、組織強化を図るのが狙い。また6月に連盟のPR誌を20,000部製作し、各支部に選手募集用に配布した。

4. 連盟用ポロシャツなど用品の販売

内 容：連盟用ポロシャツ、連盟帽子、審判帽子、役員・選手・審判用ワッペン等を作成し、販売。

以上